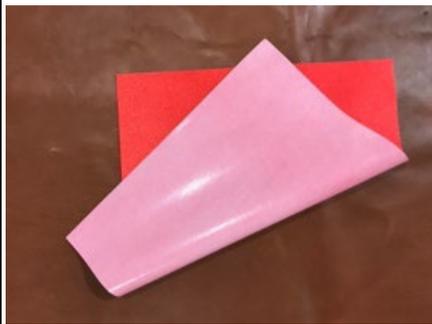


2022年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要(10件)

1.さまざまな生地にシームレスに圧着可能な素材および加工技術

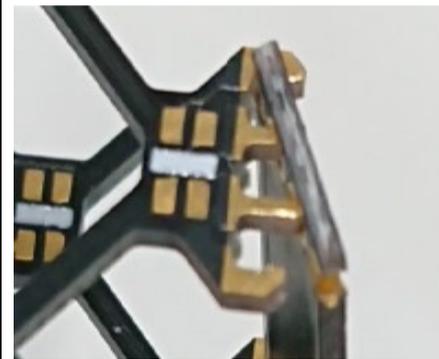
株式会社宝来社(墨田区)



生地同士のヨレやごわつきを抑え、耐久性を保持したままシームレスな張り合わせが実現可能。「熱圧着技術」のパイオニア企業として、従来難しいとされてきた「撥水素材」「革」「ウェットスーツ素材」などの特殊生地対応実績や、高強度を要求されるプロスポーツ用途の加工実績も豊富に有する。

2.半田付け不要の基板ジョイント導通技術

有限会社ケイ・ピー・ディ(葛飾区)



高密度設計や複雑な形状での基板設計を得意とする企業による、半田付けを必要とせず基板の接合のみで電流を流せる技術のエントリー。企業は大学キャンパス内に事務所を有しており、産学共同研究によるものづくりや他業界との協働経験も豊富に有している。

3.海洋生分解性を有するバイオマス複合プラスチック素材

アイコンポロジー株式会社(品川区)



木粉やでんぷんなどの植物バイオマス粉を30~40%配合した、海水で生分解するプラスチック材料。プラスチックの持つ高い成形性が保たれている点が強み。素材特性をいかすだけではなく、海のごみ問題といった社会課題の解決に寄与するような視点を持つ提案が期待されている。

4.使用中の自然な緩みの無いナット

合同会社YSコーポレーション(武蔵野市)



有限要素解析(FEA)という手法を用いて研究、開発された自然に緩まない構造をもつナット。製品を通じて、ナットの自己緩みが要因となる事故リスクの軽減や、メンテナンスにかかるコストの削減に寄与したいとの意欲を持つ企業。

5.大型シルクスクリーン印刷による膜厚を出した平滑な大判フィルムの作成技術

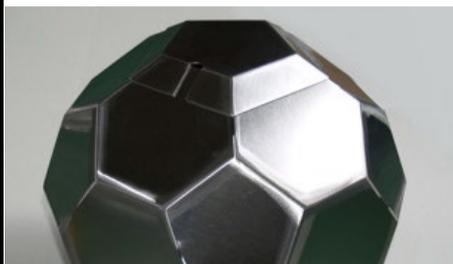
司産業株式会社(板橋区)



世界的メーカーのパートナーとして、長年培ってきたシルクスクリーン印刷技術と品質に強みを持つ企業。大判フィルムにも対応する量産体制と、繊細なフィルムの取り扱いに長けた職人の技術が多様な素材に加飾、加工可能なシルクスクリーン印刷の特性をいかしたデザイン提案の実現を支える。

6.高透磁率材料パーマロイと板金加工技術

株式会社オータマ(稲城市)



パーマロイは鉄とニッケルの合金で、熱処理をすることで磁界を集めやすい材料へと変化する性質と高い加工性を有するが、取り扱いの難しい素材でもある。実績のある磁気専門メーカーとして、特殊な素材特性をいかした新たな製品の開発と、市場の開拓を目指している。

7. 医療器械職人の手加工技術

株式会社マイステック(北区)



医療器械職人の手技継承に危機感を持つ企業が、機械加工では対応の難しい、切れ味や靱性の調整など独自の技術の継承方法を模索している。他分野へ技術を応用、転用していく手法と同時に、歴史ある技術そのものを次世代に伝えていくアイデアも求めている。

8. 貼箱製造で培った技術及び加工設備

株式会社泰清紙器製作所(練馬区)



貼箱製造を得意とする、老舗紙器メーカー。多様な生産設備と製品試作の専門チームを保有しており、小回りの効く生産体制に強みを持つ。BtoB、OEM製造で培った経験と技術を基に、新たなビジネスモデルの構築に繋がるような取り組みに挑戦していきたいとの意欲を持つ企業。

9. IoT・ブロックチェーン技術を活用したエビデンスプラットフォーム技術

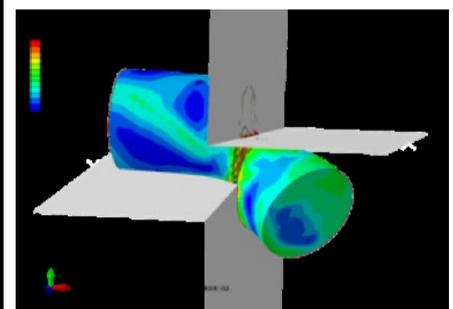
モノコトデザイン株式会社(中央区)



地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(都産技研)との公募型共同研究テーマとして採択された実績も持つ、IoT機器の製造販売メーカーによる技術活用がテーマ。同社の持つIoT、ブロックチェーン技術とデザインを組み合わせ、テクノロジーが人々のより良い暮らしや幅広く使われるような自由な提案に期待が寄せられている。

10. 有限要素解析の実施とコンサルティング

合同会社YSコーポレーション(武蔵野市)



多分野で活用されている有限要素解析(FEA)は、コンピューターシミュレーションで物理現象を解析する技術。その結果精度は、工業製品の安全性を担保するために重要なものである。この手法をより正確にわかりやすく、支援実行するためのコミュニケーションデザインが求められている。